

ランピースキン病（届出伝染病）が 福岡県の酪農家で発生！～国内初～

<症状>

ウイルスが牛に感染して、全身、**特に頸部、背側、脚部、外陰部などに数個～数百個の結節を形成**し、食欲不振、発熱を起こす

<感染源>

蚊、サシバエ、ダニなどの吸血昆虫による機械的伝播（付着したウイルスは最長6日間生存）、感染した牛の体液により感染が拡大

<疫学>

アフリカおよびマダガスカル島で主に発生していたが、中近東の国々に波及、2015年にトルコを經由し、東南ヨーロッパに拡大、2019年中国大陸の一部で発生、2023年10月には韓国で発生が初めて確認され、韓国全土に1か月程度で拡大、牛飼養農場124戸で発生を確認

予防・侵入防止対策

- ・吸血昆虫の駆除（殺虫剤・駆虫剤・粘着シートなど）
- ・他の農場等で使用した器具などは持ち込まない、エタノール、次亜塩素酸ナトリウム、逆性石けんなどの消毒剤を使用
- ・注射針、人工授精用器具等の体液（生乳を含む）が付着する物品は1頭ごとに交換して使用
- ・出荷時や毎日の健康観察を入念に行う

本病を疑う牛を見つけたら

発症牛の隔離、速やかに獣医師、家畜保健衛生所に連絡

東濃家畜保健衛生所

TEL : 0573-26-1111（内394） FAX : 0573-25-7669

休日・夜間に連絡の必要な場合は、警備室0573-26-1114 に電話し、「家畜保健衛生所に緊急に連絡が必要」とお伝えください。